



VISION

100年先も続く 持続可能な農業を実現する

アグリストは、地元農家らで開催していた勉強会から「収穫時の人手不足を解決するロボットが必要だ」という声をもとに、2019年にテクノロジーで農業課題を解決するベンチャー企業として設立しました。「100年先も続く持続可能な農業を実現する」をビジョンに掲げ、ピーマン自動収穫ロボットの開発をはじめ自社農場で営農をするなど、テクノロジーを活用した次世代農業を実現し、世界の食料問題の解決、全人類のウェルビーイングに貢献していきます。

会社名 AGRIST(アグリスト)株式会社

役員 代表取締役 秦裕貴
代表取締役 齋藤潤一

事業 AI農業
AIを活用した農業用ソフトウェアの開発
農業ロボット
AIを活用した自動収穫ロボットの開発
スマート農業
スマート農業パッケージの販売

所在地 本社
〒889-1403 宮崎県児湯郡新富町富田東1丁目47番地1
つくばオフィス
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2丁目20-5
文部科学省研究交流センター 3階
AIロボット農場
〒889-1403 宮崎県児湯郡新富町上富田

子会社 AGRIST FARM株式会社
(農業生産法人)

Web



動画



受賞歴

2021年10月 経済産業省「J-Startup2021」選定
2022年10月 第10回ロボット大賞
農林水産大臣賞 受賞
2023年1月 CES2023 イノベーションアワード 受賞

テクノロジーで
農業課題を解決する

AGRIST

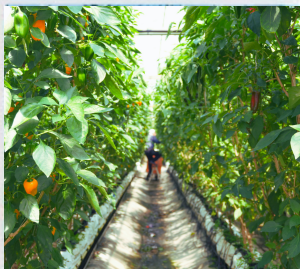
MISSION

テクノロジーで 農業課題を解決する

アグリスタは、高齢化が進み農業の担い手不足の課題をテクノロジーで解決しています。自動収穫ロボットやロボットが収集したデータを用いて収益性の高い儲かる農業経営を提案し、農業を魅力的な産業へと変えていきます。

スマート農業

農業用ロボットがより効率的に活用できるように設計された施設園芸ハウスと、ロボットが収集したデータに裏打ちされた栽培技術をセットに展開。データを活用した環境制御によって収益性の高い農業を実現します



農業ロボット

安価でシンプルなロボットをコンセプトに開発を行います。自動収穫ロボットはレール走行式で移動し、AIが収穫適期の作物を見つけ自動で収穫を実現。労働力不足を解消します。



データ活用

農作物の収穫率を高める「AGRIST Ai」の開発に取り組みます。ロボットから収集した農場ビックデータをAIで解析し、収穫量の予測をはじめ、データに基づく収益性の高い農業を実現します。



農業DXを実現する 次世代農業 パッケージの販売

お客様のニーズごとにカスタマイズして販売するアグリスタパッケージでは、農業参入やESG投資を新規事業として検討している民間企業をはじめ、農福連携を推進したい行政や自治体に向けた、さまざまなサポートが可能です。



1 スマートハウス

ロボットフレンドリーなハウスで、効率的な営農が可能です。畝を狭くし移動効率を高め軒高にすることでロボットに最適化された施設園芸ハウスです。ロボットも人も働きやすい整備された農場を実現します。

2 自動収穫ロボット

人手不足の解消だけでなく、収穫残を無くし、木の着果負担を軽減することで樹勢の維持を助けます。



3 養液栽培

土壌特有の病害を回避することができ、灌水や追肥のデータの見える化が可能となるため、収量の最大化が見込めます。場所や土地を選ばず、土作りの手間がなく、冬春・夏秋の周年栽培を可能とします。

